

# 第51回 徳島県美術展

第1期／平成8年11月10日(日)～17日(日)  
第2期／平成8年11月19日(火)～26日(火)  
会場／徳島県郷土文化会館



■ 第1期／日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・デザイン  
■ 第2期／書道(前期11月19日～22日 後期11月23日～26日)

■ 主催／徳島県美術家協会・徳島新聞社・徳島県芸術祭執行委員会

第51回

〈平成8年度〉

# 徳島県美術展

作品集

日本画  
洋写彫  
美術工  
書デザイン

主催

徳島県芸術祭執行委員会

徳島県美術家協会・徳島新聞社

後援

NHK徳島放送局・四国放送・徳島県文化協会

# 審査員

(敬称略)

①住所 ②所属団体・役職名 ③経歴・受賞歴など。



## 【日本画】 工藤 甲人

①神奈川県平塚市②創画会理事、東京芸大名譽教授③川端画学校卒。芸術選奨文部大臣賞、毎日芸術賞など受賞。



## 【書道】 栗原 蘆水

①大阪市②日展理事、日本書芸院副理事長③日展文部大臣賞、日本芸術院賞など受賞。



## 【洋画】 中根 寛

①東京都②無所属、東京芸大名譽教授③東京芸大大学院修了。東京芸大大橋賞、新鋭選抜展優秀賞など受賞。



## 【書道】 榎倉 香邨

①兵庫県②日展理事③日本芸術院賞、兵庫県文化賞など受賞。



## 【写真】 斎藤 康一

①東京都②日本写真家協会理事③日大芸術学部写真科卒。講談社出版文化賞、日本写真協会年度賞など受賞。



## 【書道】 種谷 扇舟

①千葉市②全日本書道連盟顧問、毎日書道会理事③毎日書道顕彰、千葉県文化功労賞など受賞。



## 【彫刻】 恩田 静子

①東京都②日本美術家連盟会員、二紀会委員・監事③モナコ公国現代美術国際大賞など受賞、アトランタ五輪などの公式記念メダル制作。



## 【デザイン】 安西 水丸

①東京都②日本グラフィックデザイン協会会員③日大芸術学部美術学科卒。朝日広告賞、毎日広告賞、日本グラフィック展年間作家優秀賞など受賞。



## 【美術工芸】 中井 貞次

①京都市②日展理事、京都市立芸大教授・美術学部長③京都市立芸大大学院修了。日展文部大臣賞、日本芸術院賞など受賞。

# 審査員総評



## 〈写真〉

審査員 齋藤 康一  
(日本写真家協会理事)

一通り選んだところで、まず百四点の作品が上がった。これに関してはかなりの水準に達していた。だが、全体的には可もなく不可もなくといった感じで、飛び抜けてよい作品が少なかった。今はどのコンテストでも飛び抜けた作品が出にくい状況にある。撮影者の腕が上がり、全体の水準も上がっているからだ。もう一步の工夫がほしい。

審査は、被写体を切りつめて撮っているもの、写真としては今一つだが何となくいいなと感じたものを選んだ。一般受けはしても、写真の完成度という点からはつまらないものもあった。

展示した場合の効果も考え、被写体の多様さにも配慮して選んだが、阿波踊りの作品が多いのに戸惑った。

県美術家協会会長賞の大和健司「親子」は、かわいらしさと親しみやすさがあり、親子の戯れる感じが温かさをよく伝える。水のはね方に余分なものがなく、すっきりしていた。センターに強いものをもってきているが、水の動きによって偏りが十分にカバーされている。

水遊びが続くが、特選・野藤みきよ「水浴び」は、子どもたちにかかる水の感じが面白い。露出がオーバー気味だが、ボールの絵柄が画面を引き締めている。惜しむらくは植木の存在だ。

森住博「共演」(二枚組)は、踊り子の本番のまじめな表情と、練習中の楽しそうな表情との対比がいい。同じメンバー、同じ場所、同じアングルで動きをとらえていれば、と惜しまれる。実に徳島らしい写真だ。

久保英樹「燦」は、光の入れ込みや山の形の入れ方が効果的。光の線によって、黒っぽい画面の中に静かな感じを醸し出している。



## 〈彫刻〉

審査員 恩田 静子  
(二紀会委員・監事)

全国的に見ても、かなりレベルが高かった。他県に比べて抽象が多く、具象の数とのバランスが取れているのも非常にいい。また、個性的で豊かな造形をしっかりと把握したものが目に付き、今後がおおいに期待される。

しかし、常識的な作品も多く、その点が若干弱かったように思う。彫刻の表現に常識は必要なく、今後の課題としてもっと大胆なものに挑戦してもらいたいと思う。造形とは「作る」ことではなく「創る」ことだ。

彫刻は基本ができていて当たり前の分野なので、作家の創造性や情感、構成を重視して審査した。抽象、具象を問わず、相手に何かを訴えかけることが大切だ。

県知事賞の蒔田寿「構築されたものII」は、木という素材を十分に生かした構成と空間処理がよい。彫刻としての量感が出ており、独自性も含めて大変優れた作品だと思う。

準特選の居上真人「夢はそこまできているぞ」は、冷たい石の素材でありながら人間の温かみを感じた。どこかユーモアがあり、穏やかな感じを表現している。石の難しい技法もうまくこなしている。同じく阿部佳代「アルミニウムな朝」は、荒々しいタッチが力強い。まだ完成されてはいないが、要所要所に気を使った秀作だ。未完のういういしさを感じる。

# 写 真



特選・県美術家協会会長賞 親子 大和 健司

# 写真



招待

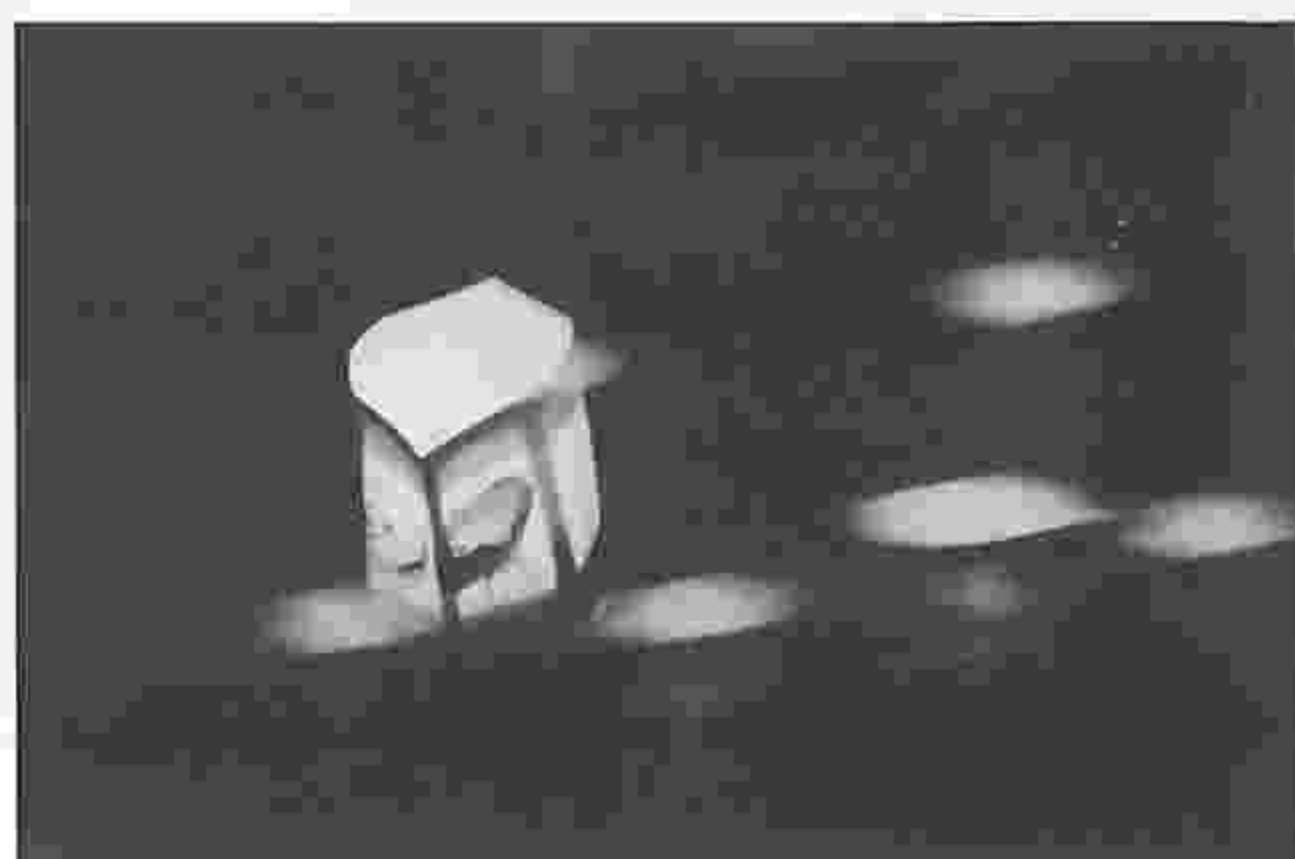
暗雲

増田

清次



特別出品 紫陽花の咲く頃 福島 正仁



招待 おくり火 井上 光雄



招待 刺す 木田 英之



招待 讚美 西條 征二



招待 湖上秋意 勝西 雅夫



招待  
自然花  
藤井  
梵



招待 海のオブジェ 武内 亨



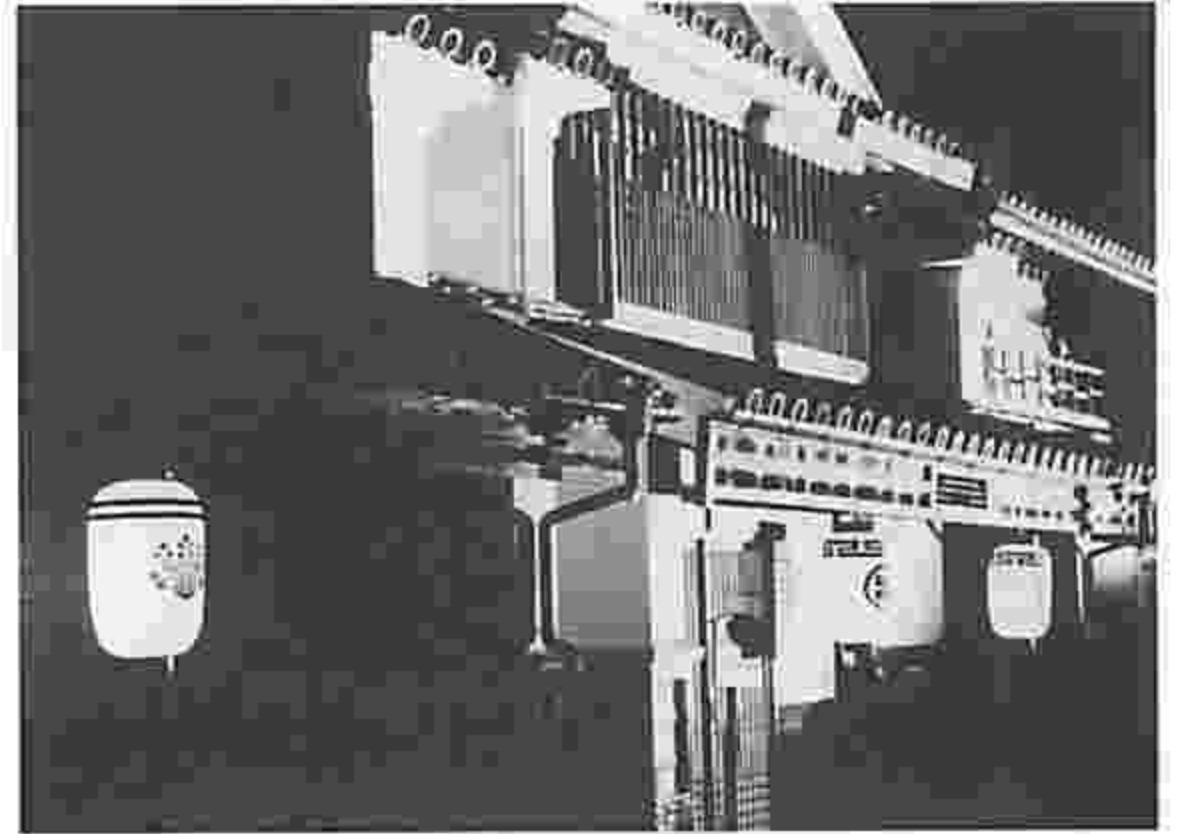
招待 朝霧 笹田 敏雄



招待 黎明 楠渕 魏



招待  
楽園吉野川源流 (高知県本川村) 三好 和義



招待 脇町の夜 酒井 博司





招待 Construction 上野 照文

招待 浮き雲 森 賢一



招待 曼珠沙華 橋本 圭祐



招待 風 安長 剛



招待  
川霧  
(海部川にて)

前浦  
芳久



招待  
驢馬  
荒井  
賢治



招待  
新緑  
林  
敏彦



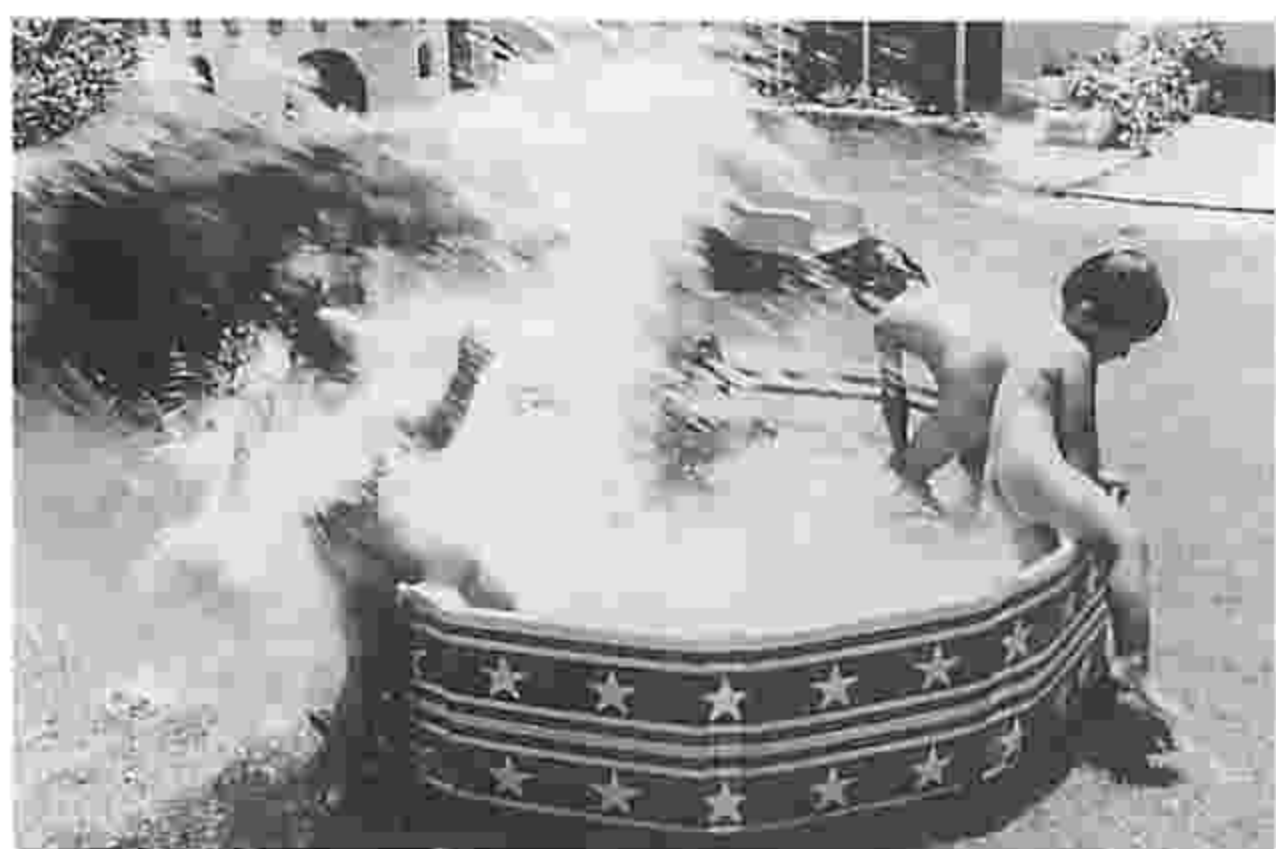
招待  
五月の水辺  
多田  
晴美



招待 蓮華 古井 謙吉



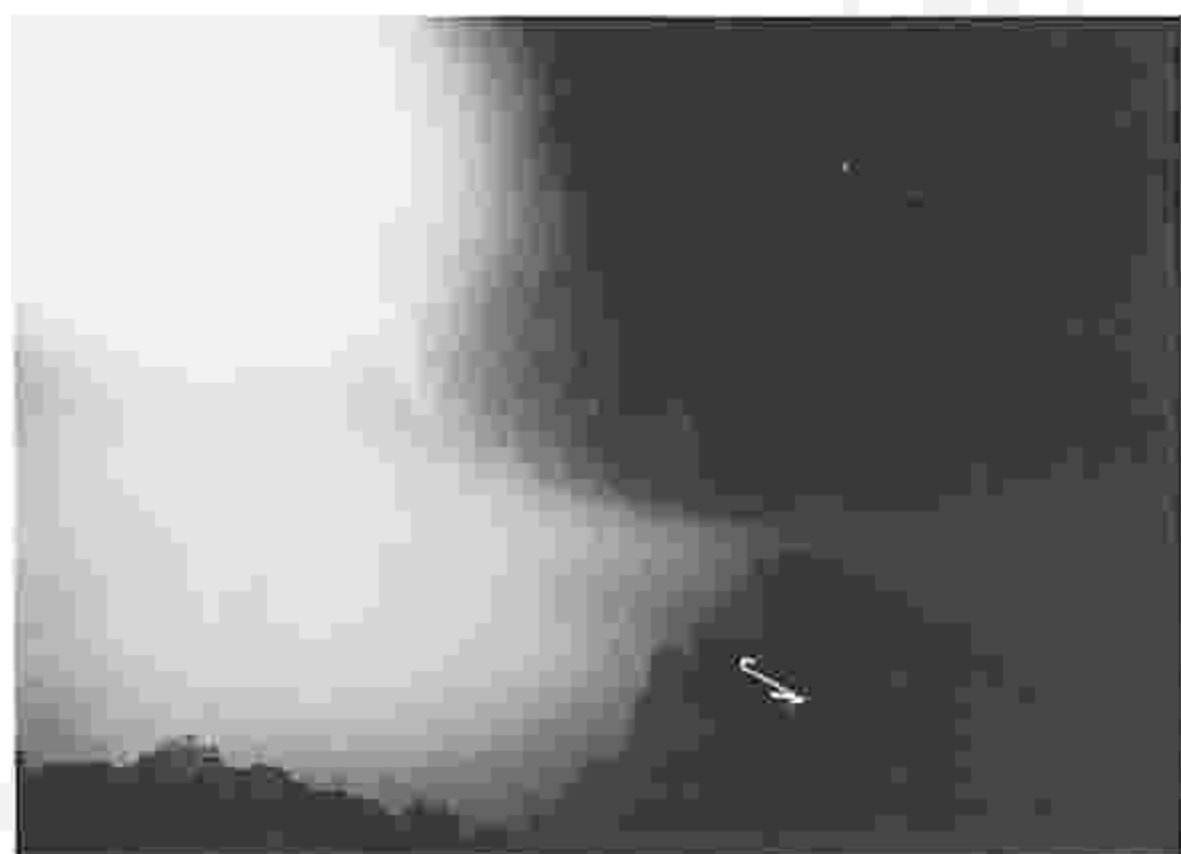
特選 共演 (2枚組) 森住 博



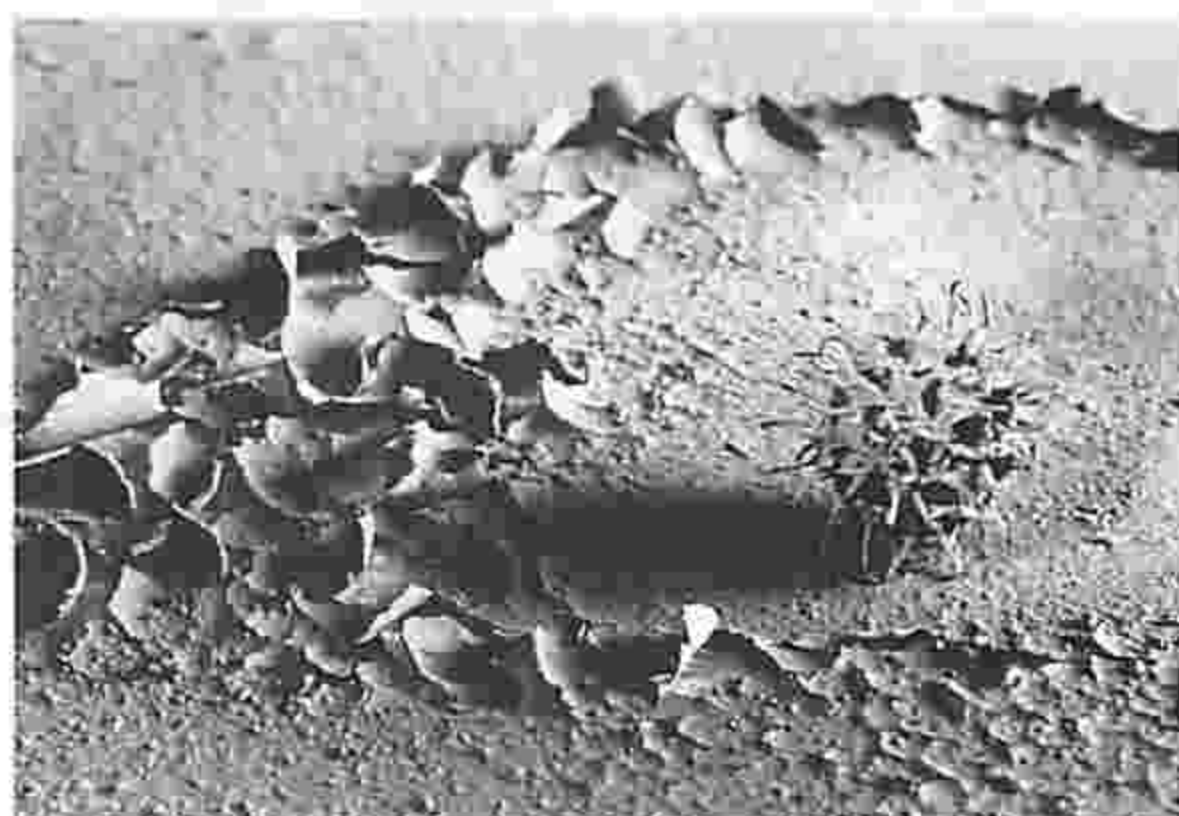
特選 水浴び 野藤みきよ



準特選 夜空の舞華  
中村 茂人



特選 燦 久保 英樹



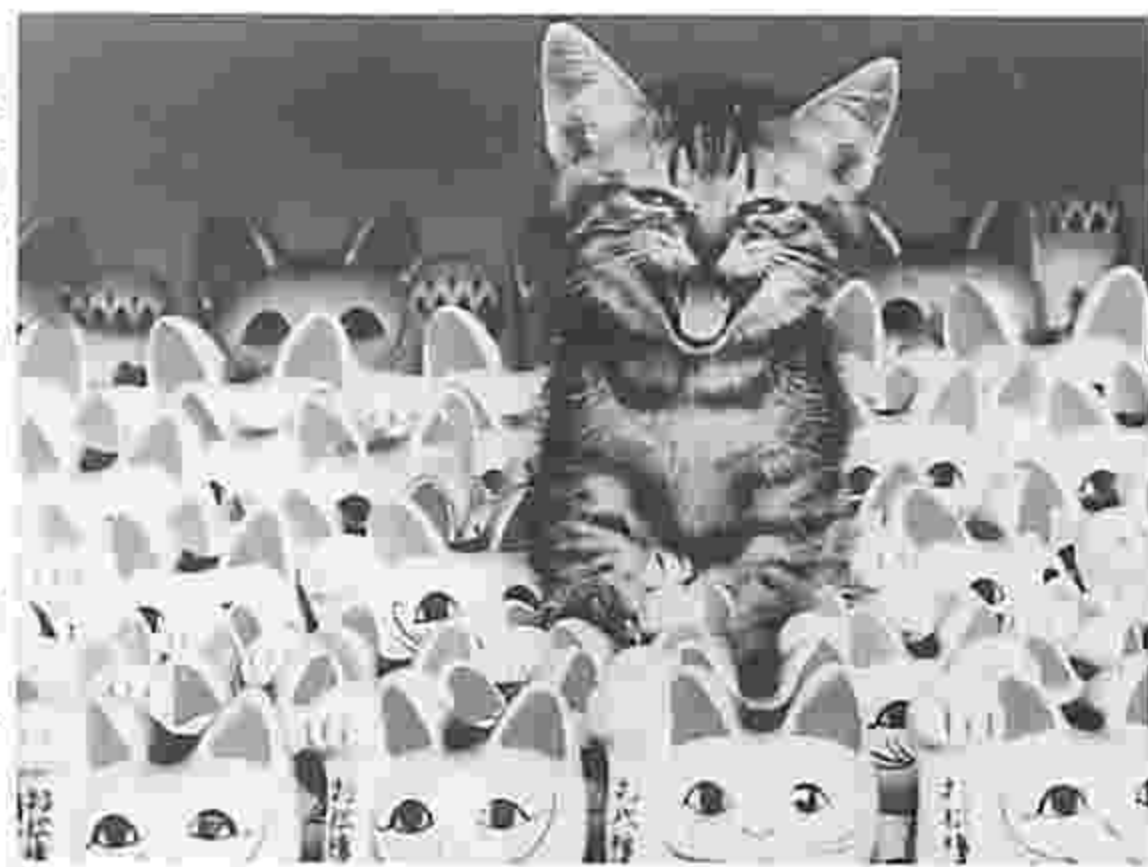
準特選 枯渴 吉村 敏嗣

準特選

猫目

塩本

勝義



準特選

女(2)

後藤

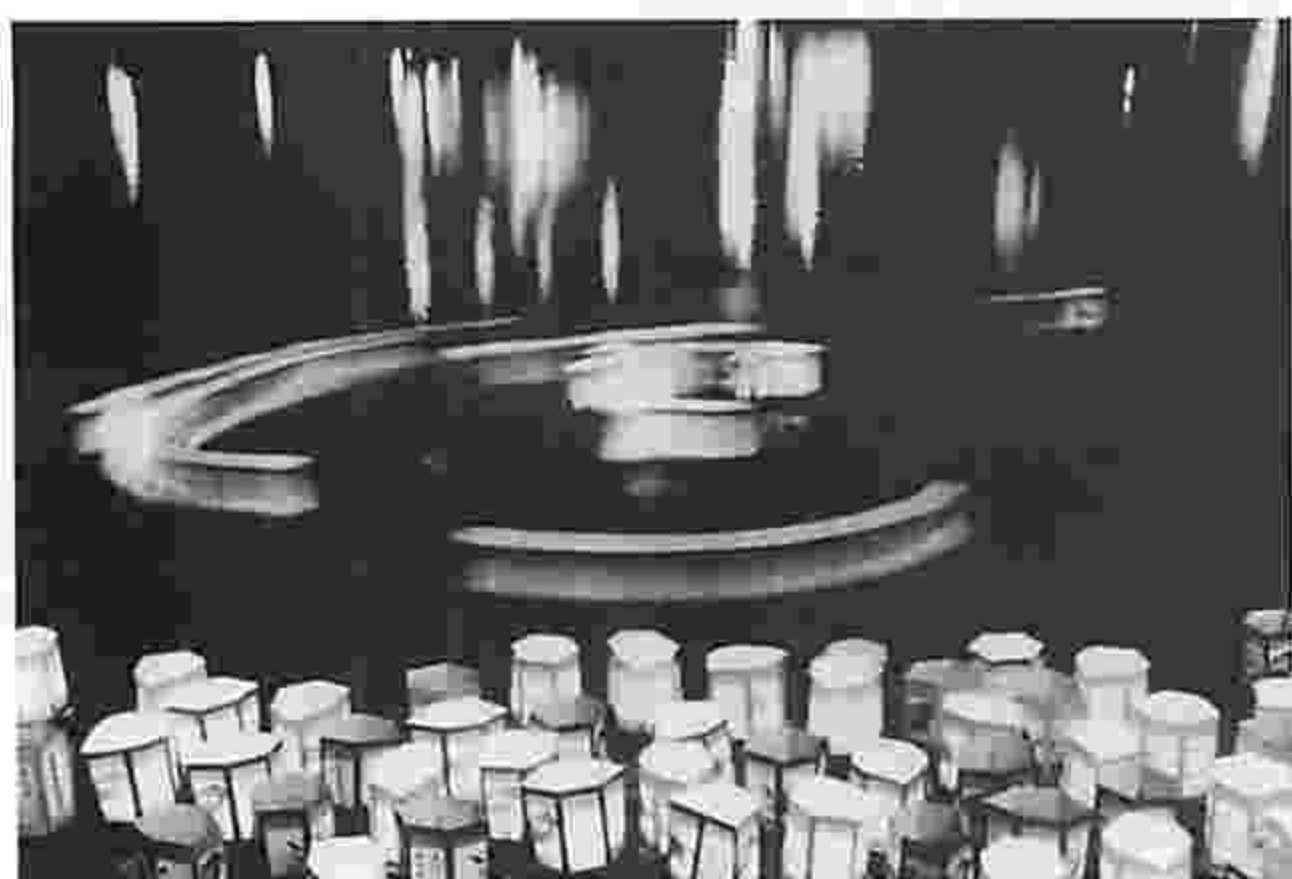
和美



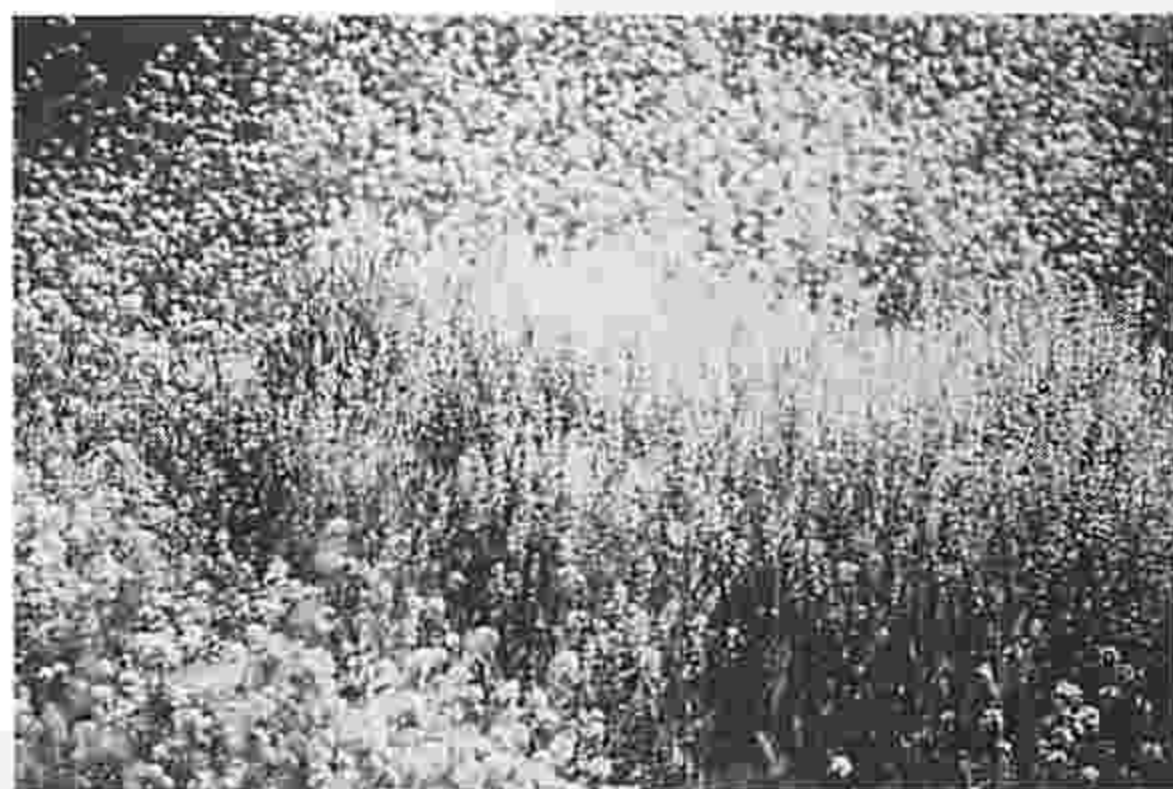
準特選 跳 中野 建吉



準特選 空白の時 竹内 勝



準特選 燈籠流し 船越 正文

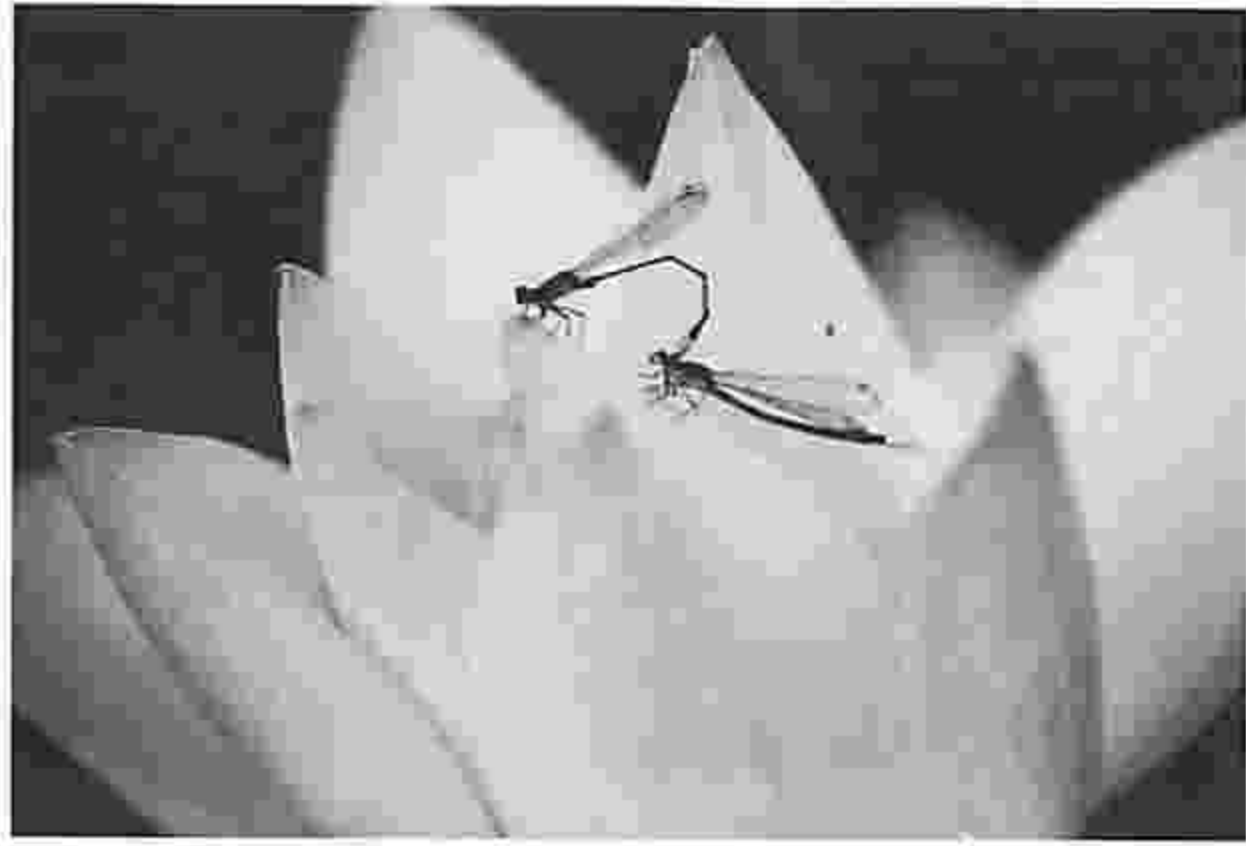


準特選

春風の中で  
(3枚組)

藤本 宗子





奨励賞 花舞台 河田 清



奨励賞 街の鴿 井形 清



奨励賞 花の山道 三好 友明



奨励賞

壬生狂言 (3枚組)

栗田ふさえ

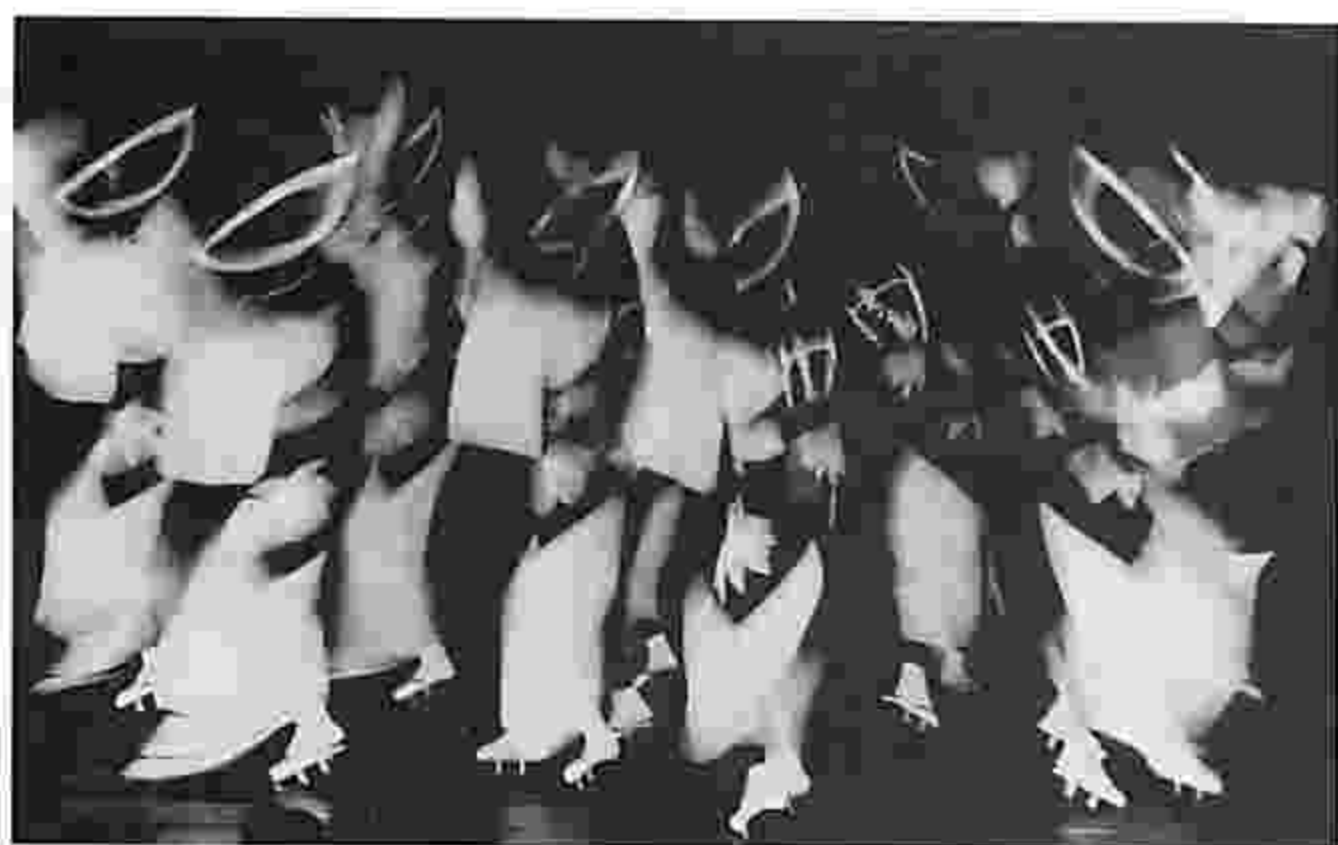




奨励賞 旅路 坂東 進



奨励賞 ハイポーズ！ 井上 憲治



奨励賞 リズム 野藤 敏美



奨励賞 暴れ屋台 森川 浩司

## 第51回県美術展出品・入選等状況

区分	部門	日本画	洋画	写真	彫刻	美術工芸	書道	デザイン	計
出品数		72	284	1,269	36	163	1,353	120	3,297
人数		60	192	247	31	116	826	85	1,557
入選	率	54.2%	38.7%	19.5%	61.1%	59.5%	40.0%	48.3%	33.8%
	特別賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	特選	2	3	4	1	2	8	2	22
	準特選	3	5	8	2	3	13	3	37
	奨励賞	3	5	8	2	3	13	3	37
	入選	31	97	227	17	89	508	50	1,019
	計	39	110	247	22	97	542	58	1,115
落選	率	45.8%	61.3%	80.5%	38.9%	40.5%	60.0%	51.7%	66.2%
	落選	33	174	1,022	14	66	811	62	2,182
特別等	特別出品		3	1	1	1	4	1	11
	招待	7	8	20	6	8	41	2	92
	無鑑査						2	1	3
	賛助出品	6	10		1	2	1	1	21
	計	13	21	21	8	11	48	5	127
展示数		52	131	268	30	108	590	63	1,242

◎特別賞は特選の内数である。